

「頭くれ」

ロベルト部落で、アントニオが我われの顔を見ると「カベサが欲しい、カベサが欲しい」という。カベサとはブラジル語で頭という意味である。俺達の頭が欲しいのだろうか、と深刻に考えたものであった。ところがよくよく聞いてみると、彼が欲しかったのはカベサ(頭)ではなくて、シャツ——カミーザだったのだ。我われの話聞いてシャツが欲しくなり、カミーザをカベサとまちがって「頭くれ、頭くれ」と言っていたのである。

Y. M.

5 法と政治

緊張と緩和 数年前までは、各部落間の戦いがひんぱんに起った。ひとつの部落における血縁のきずなは非常に強いものであるが、各部落間になるとそうはいかない。狩猟をするにしても、いつ敵がせめ込んでくるかと思うと常に安心できない。こういう意味において外婚制による婚姻体系が集団間のひとつの安心感につながる役目を果している。また集団間の友好関係を生み出す役目をしているのが共通の儀礼であろう。遠隔の部落間ではバナナやポボンヤ

の収穫祭への招待などにより友好関係を保っている。

彼らの社会においても内部の基盤を安定させようとするなら、外部との問題をより少なくしていくということがあると考えられる。

制裁 現在、各部落に首長と呼ばれる人物が存在し、また副首長あるいはそれに準ずるメンバーがいる。彼らは政治的、宗教的な事柄の一切を司り、部落の運営にあたっている。ここで当然、法を破れば何らかの制裁というもの

があると思われるが、だれかがこの強い制裁を受けたということを聞いたことはなかった。例えば、現在、各部落は狩猟より少しずつ農耕に移行しつつあると思えるが、他人の所有地からだれかが、勝手にバナナやイモ類をとっても制裁というものを受けたことはなかった。

リーダーたち 首長は世襲制によるものではなく、あくまで各個人の實力によって決定される。その實力の要件とは、働き者であること、頭がきれること、血縁関係が多いこと、力があること、年齢的問題がないことなどがあげられる。

長老や高齢者といわれる人達は儀礼的側面での優越から、政治面で深い影響を与える場合が多い。彼らの社会は男性支配の社会であり、宗教的儀礼などにおいて女性が口出しすることはない。

次に今回入域した各部落の首長および実力者と思われる人々の横顔を示そう。

シリアナ族 ロベルト部落

首長 ロベルト

副首長 アントニオ

ここでナンバー3と考えられるのは、政



ロベルト



ブリニョ

治的にはイサキ(“親族,,の項参照)である。また女性のリーダーとなっているのはジャンタ(“親族,,の項参照)である。

シリアナ族 ブリニョ部落

首長 ブリニョ

△ブリニョ

昔はこの近隣一帯を統合した大首長。現在シリアナの部落は3つに分かれているが彼のその風格は今も残っている。彼は特に農耕に力を入れている。宗教的儀式や婚姻制度に関して必ず規則を守るとい、がんとて信頼のおける首長である。

次期首長候補と思える人物はここには3名いる。ブリニョの息子ドットおよびパッサリーノとその弟ルイス(“親族,,の項参照)である。女性のリーダーはカロリーナ(“婚姻,,の項参照)である。

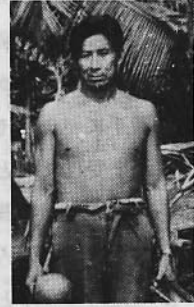
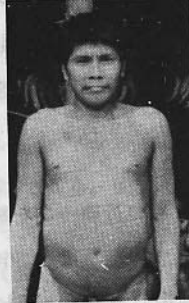
△ドット

ブリニョの息子、兄は死亡しその兄嫁であったクリスチーナを妻にした。若い、この年代の男性の中では我われが入った部落中で最も頭がきれると思われた。信望も厚く非常に温和で、夫婦仲もよいようである。ブリニョが長生きすればおそらくドットが次期首長

になるであろう。というのは、ドットは首長の諸要件は満たしているが、年が若すぎるからである。

△パッサリーノ

ルイスの兄である。ブリニョ部落の中で、ルイス、ドットと共によく働くのがこのパッサリーノである。兄弟仲はよい。妻のプリセラは非常にダンスが好きで楽しい人である。



シリアナ族 フィアーリョ部落

首長 フィアーリョ

△フィアーリョ

ブラジル語の単語を最も数多く覚えているために、FUNAIとの交換に際しては、一番有利なようにもっていつている。現代的感覚の持ち主で、文明品の愛好者であり、いつもシャツにパンツをはいている（我われの前では）。

△ノルベルト

フィアーリョとは義理の兄弟にあたるが、激しい首長争いの渦中の人と聞く。彼の働きぶりは有名で、仕事をする则他人の何倍をも1日ですてしまうと聞く。人柄は温利でいつもにこやかである。

パキダリ族 ジュゼ部落

首長 ジュゼ

2家族だけの部落であるし兄のジュゼが長であるのは別に不思議ではない。

バラフリ族 トメ部落

首長 トメ

名前のあるのはトメ1人。トメからは他の2人も首長だと紹介された。そこでその首長

2人をシューマイとギョーザと名付けた。彼らがこの部落の成員かどうかははまだ疑問である。

△トメ

無口ではあるが、非常に親切な男。トメはシューマイやギョーザに気を配り、彼ら2人はトメを信頼している。この部落は男子成員が少ないので、全体的におとなしい感じがする。

ワイカ族 ジャコ部落

首長 ジャコ

この部落は非常に活発な部落である。ただアプローチが困難なため1度しか入れなかったのが残念である。ジャコは妻を2人持つ。

ポストのインディオ

首長 マテウス

現首長マテウスはトゥカノ族出身である。長老のワウデマは尊敬されている。ナンバー3がジョワンである。

△ジョワン

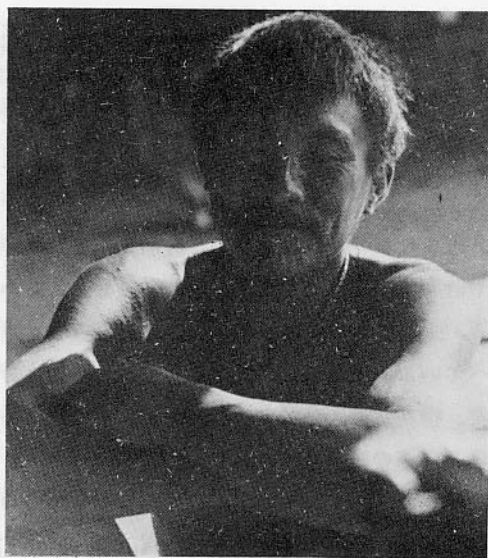
ジョワンはシャーマンでもある。余り働き者であるとはいえない。少し気が短い性格のようだ。

ホコテリ族 ダヴィ部落

首長 ダヴィ



我われは、この部
落は知らないが、ロベ
ルト部落へ遊びに来て
いた。



バラフリ族首長トメ

